

事務事業評価

平成 24 年度

担当グループ 政策企画グループ

基本事項	事務事業名	男女共同参画社会づくり				整理番号	0105		
	根拠法令等	島原市男女共同参画推進懇話会設置要綱			実施を義務付ける規定	○あり ●なし			
	関連する市勢振興計画の基本計画	章 第9章 自立した地域コミュニティづくりを支援する	▼	予算科目	2 款 1 項 7 目	●継続 ○新規			
事業の目的・実施状況等	事業の背景 (課題、市民の要望等)	少子高齢化、人口減少時代を迎え、個人の価値観や生活様式も多様化するなど、私たちを取り巻く社会や生活環境は大きく変わりつつある。 このような中で、国・県においては、男性と女性が、それぞれ個人として尊重され、社会の多様な分野で、共に生き生きと暮らす社会づくりが進められている。				計画期間	始期	平成 13 年から	
	事業の対象及び目的 (誰に、何を、どのような状態にしたいのか)	男女が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる「男女共同参画社会」の実現をめざす。						終期	平成 年まで
	目的達成のための手段・方法	①島原市男女共同参画推進懇話会の開催 ②男女共同参画社会づくり講演会の開催 ③研修会の開催							
	成果指標 (意図する状態の達成度を図るものさし)	名称等(内容)		単位	22 年度	23 年度	24 年度		
		男女共同参画社会づくり講演会入場者数		目標 人	200	200	200		
	活動指標 (意図する状態達成のために実施する活動等)	①広報しまばら、FMLしまばら、島原市ホームページ、防災無線、チラシ配布、ポスターにより周知を図る。		実績 %	75.0	100.0	0.0		
		②島原市男女共同参画推進懇話会開催回数		目標 回	4	4	4		
事業費等の推移	年度		20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	
	区分		実績値	実績値	実績値	実績値	予算	計画	
	①直接事業費(千円)		617	238	994	582	987	987	
	財源内訳	国県支出金	234	0	215	269	230	230	
		地方債							
		その他							
		一般財源	383	238	779	313	757	757	
②従事職員給与費 b1×b2		858	859	860	868	873	0		
従事職員数(人) b1		0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12		
職員平均人件費 b2		7,153	7,162	7,168	7,236	7,277			
事業費合計 ① + ②		1,475	1,097	1,854	1,450	1,860	987		

【1次評価】

◎事務事業の評価項目と評価の視点		評価内容（判断理由、課題等）	
目的 妥当性	①住民ニーズの変化等により事業の必要性や役割は変わっていないか	A=変わっていない B=一部変わった C=変わった 「女らしさ」「男らしさ」についてのイメージ・意識・考え方つまり「ジェンダー」というものにとらわれず、一人一人が平等に扱われるべきだという考えの男女共同参画を推進していくことが求められる。	判定 A
	②事業を民間(NPO、市民、ボランティア等)に任せることはできないか	A=可能でない B=一部は可能 C=可能である 本事業は島原市男女共同参画推進懇話会の中で進めているため、今後も市民の代表としての懇話会委員の方々と進める方針に変わらない。	A
	③対象等は事業目的に見合っているか、拡大や絞込む必要はないか、見直しによる費用対効果の向上が図られないか	A=概ね適切 B=改善の余地あり C=見直しが必要 今後も継続的に行っていく必要がある。	A
有効 性	④事業の実施により初期の目的や目標がどの程度達成されているか	A=達成している B=一部達成している C=あまり達成していない 言葉の認識度は高まってきているが、固定的な考えが今も完全に消えたとはいえない。	B
	⑤成果の状況を踏まえ、手段等を工夫したり事業内容を見直すことで、成果をさらに向上させる余地はありませんか	A=十分成果が得られている B=検討の余地あり C=見直しが必要 懇話会委員とともに協議し、成果をさらに向上させることが期待できる。	A
効 率 性	⑥活動量や成果を下げずにコストを縮減できないか、投入された資源量に見合う結果が得られているか、改善の余地はありませんか	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 男女共同参画社会の普及・啓発事業において、費用面など含めて改善の余地はある。	B
	⑦事業の効率性を上げるため、他の事業との統合や事務の省力化など見直す余地はありませんか	A=見直す余地はない B=統合等、検討の余地あり C=見直しが必要 見直す余地はあまりない	A
	⑧組織間の連携や役割分担に改善の余地はありませんか。	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 審議会等委員への女性の登用率の実績21.2%をふまえ、目標値である33.3%の実現に向け、庁内推進会議の開催など更なる取組が必要。	B
公平 性	⑨事業の対象者全員に偏りなくサービスが提供されていますか。全体コストから見て受益者の負担割合は適切か、使用料等の見直しの余地はありませんか。	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 見直しの余地はあまりない。	A
⑩市民参加、市民協働が配慮されているか、市民参加を拡大する余地や、新たに取り組む余地がないか		A=概ね適切・現状維持 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要	
			判定 A=3、B=2、C=1、「-」=0として換算 2.67

◎ 総合評価

評 価 結 果	<input checked="" type="radio"/> A 継続実施(特段の見直しは行わない)	判 断 理 由	男女共同参画社会の実現は市民の意識改革が必要ことから引き続き男女共同参画社会の講演会などの普及・啓発活動を行い、島原市男女共同参画計画に沿って男女共同参画社会の推進を図る。
	<input type="radio"/> B 改善・見直しを行う		
	<input type="radio"/> B1 事業規模の拡充		
	<input type="radio"/> B2 事業規模の縮小		
	<input type="radio"/> B3 事業内容の改善・見直し		
	<input type="radio"/> B4 その他の見直し		
<input type="radio"/> C 休止(隔年実施などへの変更)			
<input type="radio"/> D 廃止(終期の設定等を含む)			
今後の課題及び改善策、見直しの状況	(実施上の課題等) ・島原市男女共同参画推進懇話会での取り組み内容の検討 ・男女共同参画社会づくり講演会の講演内容の検討		
<p>・総合評価で、「見直し・改善」を行うとした場合、見直しを行う上で今後の課題や事務事業の改善・見直しを行うことにより予想される効果も併せて記載ください。 ・本年度の事業を実施するにあたり、事業内容等の見直し(改革・改善、終期の設定など)を行っている場合は、その内容についても記載ください。</p>			

【2次評価】

総合判定	A 継続実施(特段の見直しは行わない)
備考	男女共同参画社会の実現に向け、今後も地道な普及・啓発活動を行うこと。

【3次評価】

総合判定	
備考	

評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況			
① <input type="checkbox"/> 事業費縮減(事業の見直し)	③ <input type="checkbox"/> 成果向上に向けた事業費増加	↓ 予算措置額の増減	
② <input type="checkbox"/> 民間委託等によるコストの縮減	④ <input type="checkbox"/> 事務の効率化による現状維持(事業内容の拡充)	(千円)	